

フェアトレード について 考えてみよう

バナナ、カカオ、コットン、コーヒーなど、
私たちの生活に身近な製品はどんな場所で生産されているのでしょうか。
フェアトレードとはどんな仕組みなのでしょうか。



フェアトレード認証 4つの特徴

バナナ・カカオ・コットン・コーヒーを生産する人の多くは情報や技術が少ないため、弱い立場に置かれてしまう場合があります。家族のために子どもも農園で働かなければいけない、不衛生な環境や水で病気になってしまう、不当な価格で生産物を売らざるを得ないなどの状況の中で生産者は暮らしています。そんな人たちの自立を助けるために、公正な価格で製品を長期的に取引し、プレミアム（奨励金）で学校や井戸の建設など、生活の質を向上させるのがフェアトレードという仕組みです。

フェアトレードは

- ①適正価格の保証
 - ②プレミアムの保証
 - ③代金の前払い
 - ④長期的な取引
- などを約束します。

また、フェアトレードでは児童労働を禁じています。きちんと基準が守られているかどうかは、第三者が客観的な立場で定期的に監査を行っています。

プレミアム（奨励金）は、取引量に応じて、輸入業者から生産者組合に直接支払われます。使い道は生産者組合のメンバーで民主的に話し合って決めます。プレミアムは学校や井戸の建設、水洗トイレの設置など生活に欠かせないものを導入するために使用されるほか、生産性や品質向上のためにも多く使われます。

また、フェアトレード認証農家には**技術支援**も定期的に行われています。技術や知識を身に付けることでより品質の良いものを作ることができるようになり、さらなる収入向上や自立に繋がります。フェアトレードの製品は生産者の暮らしがより良くなる手助けになるのです。

原料の生産から輸出入・製造を経て完成品となるまでの過程で国際フェアトレード基準が守られている商品には、この国際フェアトレード認証ラベルが貼られています。

国際フェアトレード
認証ラベル





フェアトレードとサステナビリティ

2015年国連サミットで採択された「**持続可能な開発のための2030アジェンダ**」では、2030年までに達成する目標として**17の目標**と**169のターゲット**からなる「**持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals(SDGs)**」を掲げています。フェアトレードの取り組みは**SDGs**の掲げる**17の目標**ほぼすべてに関係しています。その中でもフェアトレードで持続可能な農業と貿易の促進や持続可能な消費活動を促すフェアトレードは特に**8つの目標**達成に大きく寄与します。

目標 1 「貧困の撲滅」

目標 2 「飢餓の撲滅・持続可能な農業の促進」

目標 5 「ジェンダー平等」

目標 8 「安全な労働環境・強制労働や児童労働の禁止」

目標 12 「持続可能な消費と生産」

目標 13 「気候変動対策」

目標 16 「平和で包括的な社会の促進」

目標 17 「グローバルパートナーシップの活性化」



フェアトレードを買ってみよう

コーヒー、チョコレート、紅茶など、日本には750種類以上のフェアトレード認証製品が販売されています。お店でフェアトレード認証ラベルの製品を探してみてください。フェアトレード製品が売っているかお店の人に聞いてみるといいかもしれません。認証製品を購入したことをSNSでアピールすると、お友達にもフェアトレードを知ってもらえる機会になります。

フェアトレードについてもっと詳しく知りたいときは
フェアトレード・ラベル・ジャパンの公式サイトや
Facebook に遊びに来てください！



特定非営利活動法人 フェアトレード・ラベル・ジャパン
 東京都中央区日本橋富沢町 11-6 英守東京ビルディング 3階
<http://www.fairtrade-jp.org/>

